

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	石井 義人	電 話	483-6587
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9802		事務事業名称	雨水管渠維持事業(下水道事業_収益的支出)						短縮コード	経常	9802	臨時	
予算区分	会計	61	公共下水道事業会計_収益的支出	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	01	管渠費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		下水道法第3条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
本市の公共下水道事業は勝田台団地の開発により公共下水道が整備され、入居に併せ昭和43年10月から供用を開始し、昭和50年1月からは流域関連公共下水道として供用を開始した。また、公共下水道の修繕や維持管理等は下水道法により市町村が行うものとされているので、それに併せて供用開始区域における雨水管渠等の維持管理を行っている。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
供用開始から40年以上経過していることから、管理施設の老朽化が見受けられる。また、西八千代北部特定土地区画整理事業の大規模開発及び小規模な宅地開発等が行われており、それに伴う公共下水道の整備による維持管理施設も増加していく。						大項目（節）	05	下水道						
						中 項 目	01	下水道						
						小項目（施策）	03	維持管理の充実						
						細 項 目	01	下水道施設の維持管理						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	雨水施設（雨水管渠，雨水調整池）						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 雨水管渠の修繕及び雨水調整池の点検や草刈等。 八千代1号幹線及び2号幹線（開渠）の浚渫						
	※平成22年度に計画していること： 雨水管の管渠修繕，調整池の点検及び草刈等。 八千代1号幹線及び2号幹線（開渠）の浚渫。						
意図 （何を狙っているのか）	雨水排水が安定して排除できる施設にし，道路冠水などの浸水被害を防ぐ。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	20年度	21年度		22年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	管延長	m	109,339	111,000	125,094	130,000
	指標2	調整池	m ²	95,320	95,320	95,538.87	95,538.87
	指標3	雨水マンホールポンプ	箇所	10	10	10	10
活動指標	指標1	人孔鉄蓋の修繕件数	件	51	50	72	50
	指標2	管渠の修繕件数	件	2	2	6	2
	指標3	水路の浚渫回数	回	4	4	2	4
成果指標	指標1	管渠等の苦情件数	件	18	10	3	10
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード		9802	事務事業名称	雨水管渠維持事業(下水道事業_収益的支出)			所属名	維持管理課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	3, 750	2, 120	1, 675	1, 897	
		その他	千円	45, 920	45, 840	39, 941	41, 067	
	主な事業費の内訳			委託料 14, 190千円 修繕費 24, 615千円	委託料 12, 462千円 修繕費 24, 044千円	委託料 12, 707千円 修繕費 20, 580千円	委託料 18, 348千円 修繕費 16, 236千円	
	人件費 (B)			千円	31, 734	30, 114	14, 097. 4	13, 618. 7
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円		81, 404	78, 074	55, 713. 4	56, 582. 7

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		下水道施設の維持管理に結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		下水道施設が存在する限り，維持管理事業は継続し続ける必要がある。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		下水道法により，事業の実施は市が行うものと義務づけられている。				
☒ 可能性はない									
☐ 評価対象外事項									
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の対象と意図で結果に結びつく。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☒ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☒ 民間委託等		一部直営で実施している維持管理を専門業者等へ委託し，有効性・効率性を向上させる可能性がある。				
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法						
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		業務体制の見直しを計る必要があり，充分な計画と調整が必要となる。				
			☐ ない						

コード	9802	事務事業名称	雨水管渠維持事業(下水道事業_収益的支出)				所属名	維持管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			受贈施設の増加により維持管理する施設が増加傾向にあるため、専門業者への委託等を検討していく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			維持管理施設が増えているため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
マンホール鉄蓋の振動や騒音対策，ユスリカ駆除の対策，都市排水路・雨水調整池及び下水道用地の草刈や清掃の要望がある。									

所属長コメント	管渠や調整池などの施設が増え，管理方法に対する要望も変化している。これらに対して迅速に対応し市民の期待に応えていくよう，今後も努力していきたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			維持管理業務の委託については，課題解決に努め，順次推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									